

製品名: サイクリン M2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09605**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	100kDa

抗原情報

遺伝子名	CNNM2
別名	CNNM2; ACDP2; Metal transporter CNNM2; Ancient conserved domain-containing protein 2; Cyclin-M2
遺伝子 ID	54805.0
SwissProt ID	Q9H8M5
免疫原	抗血清はヒト CNNM2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 571-620

背景

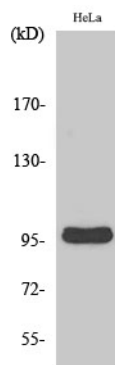
サイクリンおよび CBS ドメイン二価金属陽イオン輸送メディエーター 2 (CNNM2) Homo sapiens この遺伝子は、古くから保存さ

れているドメイン含有タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質ファミリーのメンバーはサイクリンボックスモチーフを含み、サイクリンと構造的に類似しています。コードされているタンパク質は、マグネシウムの上皮輸送と腎臓での再吸収を媒介することで、マグネシウム恒常性維持に重要な役割を果たしていると考えられます。この遺伝子の変異は、腎性低マグネシウム血症と関連しています。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011年12月]、機能: 二価金属陽イオン輸送体。二価金属陽イオンの輸送を、 $Mg(2+) > Co(2+) > Mn(2+) > Sr(2+) > Ba(2+) > Cu(2+) > Fe(2+)$ の順に媒介する。、その他: サイクリンファミリーと弱い配列相同性を持つことから、その名が付けられている。しかし、生体内ではサイクリン様の機能を持たない。、類似性: ACDPファミリーに属する。、類似性: 2つのCBSドメインを含む。、組織特異性: 広く発現している。脳、腎臓、胎盤で高発現する一方、骨格筋では弱い発現を示す。、

研究分野

-

画像データ



サイクリン M2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析